

ミストレーサ[®]

取扱説明書・注意書



CRM-Sシリーズ



CRM-Vシリーズ



CRMH-Sシリーズ



CRHシリーズ


このたびは、ミストレーサをお買い上げいただきありがとうございます。
この取扱説明書・注意書は【CRM-Sシリーズ・CRM-Vシリーズ・CRMH-Sシリーズ・CRH(高温形)シリーズ】の仕様について説明しています。
本製品は工作機械等で加工された際に発生するミストを回収するものです。
ミストレーサを『安全』に『効率よく』ご使用いただくために、この取扱説明書・注意書【特に⚠マーク部】をよくお読みください。


この取扱説明書・注意書は、大切に保存してご活用ください。

【目 次】

1. 取扱説明書・注意書の見方について	1
2. 図記号の意味について	1
3. ミストレーサを【安全】にご使用いただくために	1
4. 納品時のご確認について	3
5. 内部構造と各部の名称	4
6. 各種表示ラベルについて	8
7. 設置環境条件について	9
8. 吸引物質について	9
9. 設置について	10
10. 配管について	18
11. ご使用上の注意について	20
12. 保守点検について	21
13. 保証について	31
14. お問い合わせについて	32
15. 廃棄について	32
16. 仕様一覧	33

1. 取扱説明書・注意書の見方について

本文中の【 警告】マークの部分は、取り扱いを誤ると【**死亡や重傷に結びつく事故**】【**火災発生**】の可能性のあるものを示しています。

また、本文中の【 注意】マークの部分は、取り扱いを誤ると【**傷害に結びつく事故**】【**製品損傷**】に結びつくものを示しています。

2. 図記号の意味について



禁止事項を表します。
(対象は不特定)



指示の通りにしてください。



取り扱いを誤ると事故につながる可能性があります。



分解禁止



必ずアース線を接続してください。



感電注意



高温注意

警告・指示項目は、必ず守ってください。

3. ミストレーサを【安全】にご使用いただくために

本製品は、工作機械等から発生するオイルミストを捕集し、快適な作業環境を確保するための商品です。本来の目的以外では使用しないでください。

警告 危険場所への設置厳禁

このミストレーサは耐圧防爆構造品ではありません。爆発性雰囲気となる可能性のある場所で運転すると、モータ(電動機)が焼損(焼けて壊れる)した時、周囲のガスが『爆発』して危険です。

(CRH-□□Eシリーズは除く)



 **警告** 火災・爆発を避けるために

爆発性ガス 有機溶剤 火気 は絶対に吸引しないでください。
(CRH-□□Eシリーズは9ページ記載の範囲内でご使用ください。)



 **警告** 火災・感電事故を避けるために

ミストレーサの配線は、必ず電気工事の有資格者が
電気設備技術基準や内線規程に従い施工してください。



 **警告** 回転中の保守・点検禁止


フィルタの交換・点検は、電源停止から2分以上待ち、羽根車
の惰性による回転を停止させてから行ってください。



 **注意** 火傷の注意 (CRH、CRMH-Sシリーズ)

運転中や停止直後は本体、本体内部には触れないでください。
【やけど】のおそれがあります。



 **注意** CRM-Sシリーズ、CRM-Vシリーズ、
CRMH-Sシリーズをご使用される際のご注意


CRM-Sシリーズ(H02を除く)、CRM-Vシリーズ(H02を除く)、CRMH-S
シリーズで使用している高効率モータ(IE3)は標準(IE1またはそれに準
ずる)モータに比べ、損失を低減するために、モータの巻線抵抗が低くな
るように設計されております。これにより、一般的に標準モータより始
動電流が大きくなる為、弊社従来品などとの置き換えの際には、
ブレーカ、サーマルなどの変更が必要になる場合があります。



 **注意** 設置後の輸送について

装置などに固定して輸送される場合は、ロープ掛け等で本機を
確実に固定してください。故障または破損の原因となります。



 **注意** 本機の移動について (CRM-Vシリーズ)

本機を移動させる際は端子箱を持たないでください。変形、破
損の原因になります。端子箱以外の部分を持つ、もしくは付属
品の吊りボルトを取り付けて移動させてください。



4. 納品時のご確認について

入念に検査・点検を行った上で出荷しておりますが、念のためお手元のミストレーサについて、次のことをご確認ください。

- ご注文どおりの製品ですか。
- 輸送中の【**破損・変形**】など異常はありませんか。
- 内容物、標準付属部品に欠品はありませんか。

標準付属品	形式区分	CRM-S シリーズ	CRMH-S シリーズ	CRM-V シリーズ	CRH シリーズ
ドレンチューブ	2本	○	○	—	○
ホースバンド（ドレンチューブ用）	2個	○	○	—	○
防振パッド	4個	○	○	—	○
ダクト相フランジ*	1個	○	○	—	○
パッキン（ダクト相フランジ用）*	1枚	—	—	—	○
アイボルト	2個	—	—	○	—
圧着端子（1個予備）	7個	○	○	○	—

※ダクト相フランジは製品取付用に1個、相手側装置取付用に1個付属しています。
またCRM-Sシリーズ、CRMH-Sシリーズのパッキン（ダクト相フランジ用）はダクト相フランジに貼付されています。
機種により付属品の内容が異なる場合があります。

ミストレーサを保管される場合は下記の環境で保管してください。

- 屋内で直射日光の当たらない場所
- 温度0℃～40℃
- 湿度10%～90%（結露なきこと）

長期間（3カ月以上）保管・休止する場合は次のことにご注意ください。

(1) 梱包した状態で保管の場合

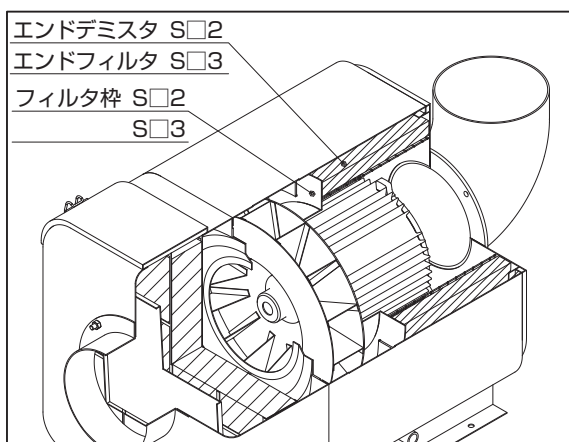
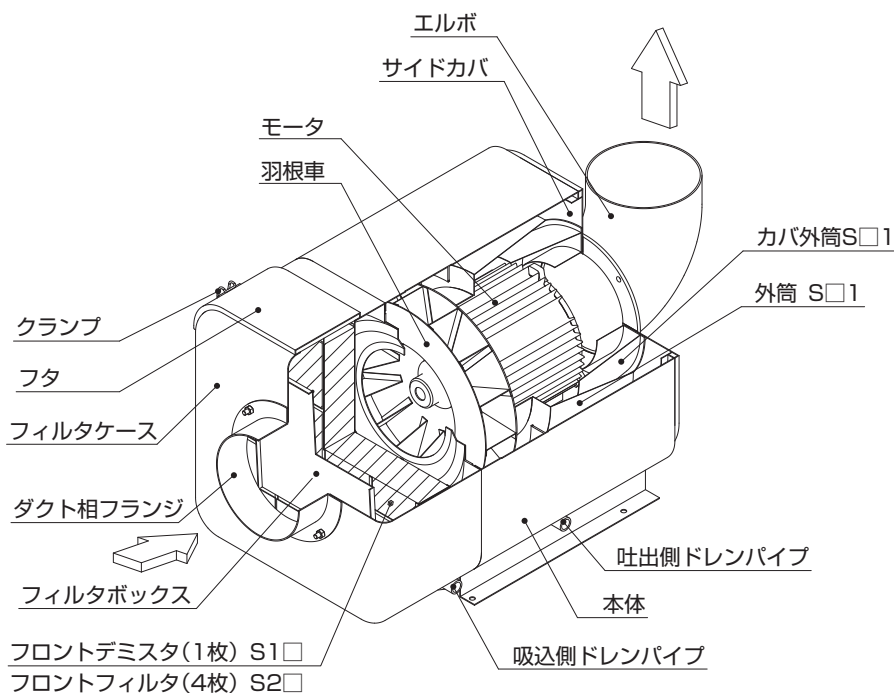
屋内の温度変化の少ない、乾燥した場所で保管して下さい。

(2) 据え付けた状態で休止の場合

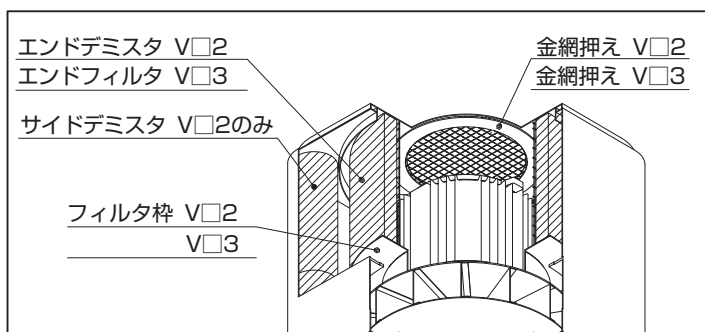
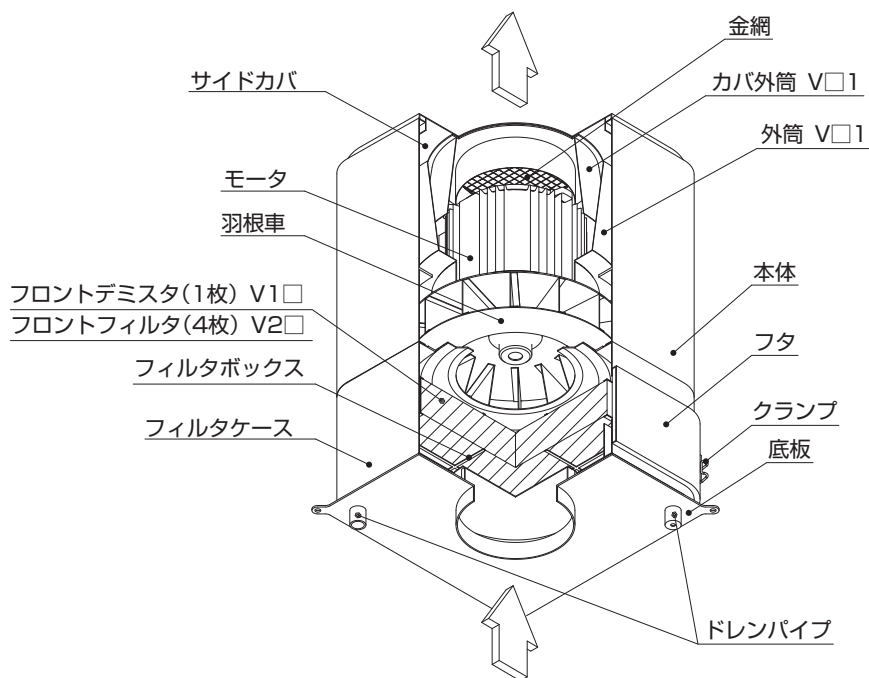
他の装置からの【**大きな振動**】や【**熱**】を受けないようにしてください。
水や油、ほこりなどからミストレーサを守るため、ビニールなどで覆っていただくことをおすすめします。

5. 内部構造と各部の名称

(1) CRM-Sシリーズ、CRMH-Sシリーズの内部構造と各部の名称

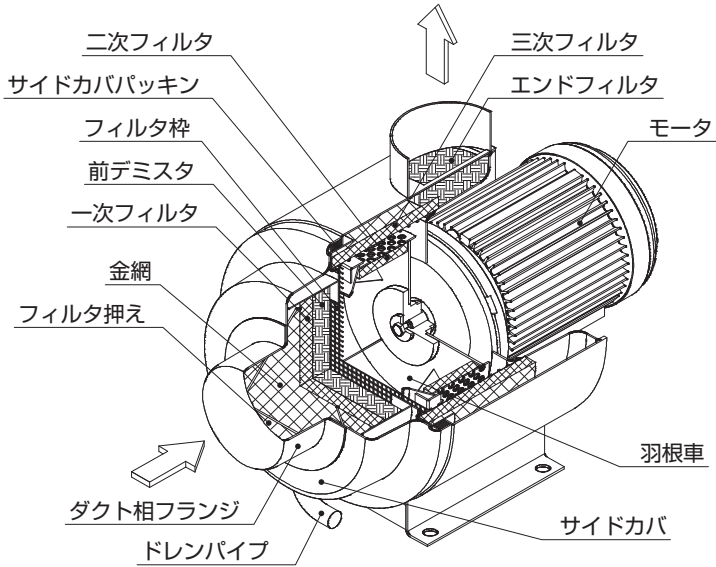


(2) CRM-Vシリーズの内部構造と各部の名称

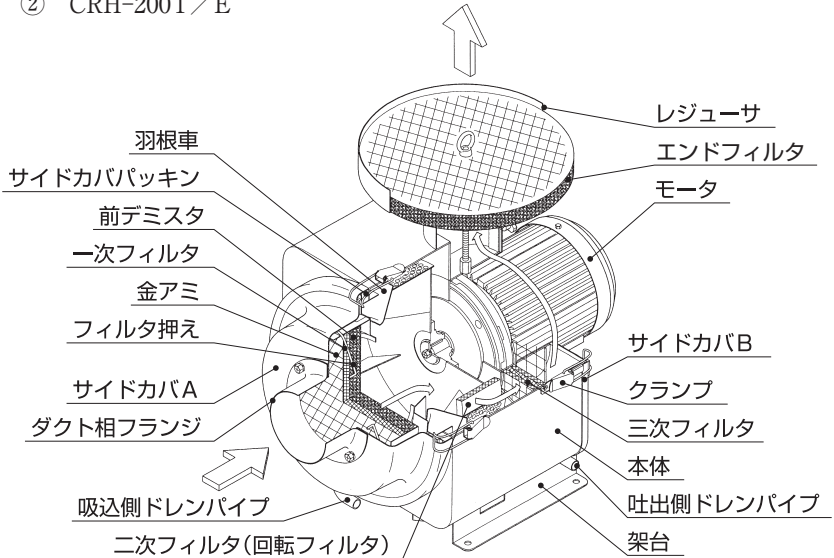


(3) CRHシリーズの内部構造と各部の名称

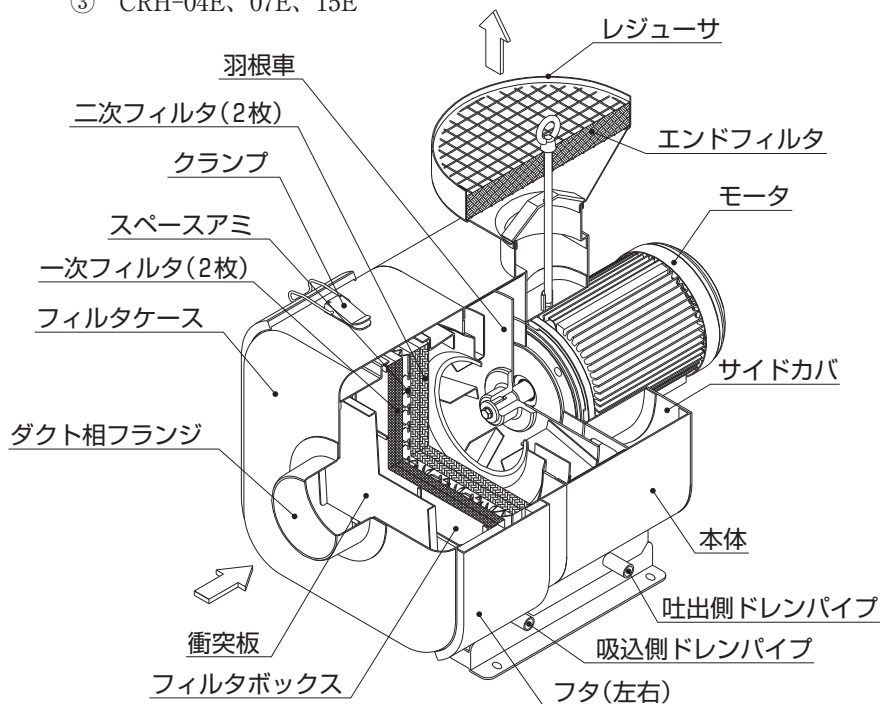
① CRH-100T/E



② CRH-200T/E




③ CRH-04E、07E、15E



6. 各種表示ラベルについて

- (1) 製品銘板(電動機銘板)……………本体部又は架台部
製品形式・定格電圧・定格周波数・定格電流・絶縁クラス・最大静圧・
最大風量・製造番号などの内容を表示しています。
注1：定格とは、使用限度を表します。
注2：静圧とは、気体の流れに対して平行な面に加わる力をいいます。

- (2) 接地（アース）……………端子箱内
 マークで表示しています。この部分より必ずアース線を接続して
ください。

- (3) 警告ラベル……………フィルタケース(CRHシリーズ)
羽根車回転中、フタ又はカバの取り外し禁止の警告ラベル
電源停止後、すぐにフタ又はカバを開けると羽根車が慣性により回転し
ているため、**【指・手首】**を負傷する危険がありますので、電源停止後、
【2分以上】お待ちください。

- (4) 注意ラベル……………サイドカバ(CRH,CRMH-Sシリーズ)
やけどの恐れあり。運転中や運転直後は本体に触れないでください。

7. 設置環境条件について



注意

モータの焼損や部品の劣化などにつながります。
必ず、下記の範囲でご使用ください。

	CRM-Sシリーズ CRM-Vシリーズ	CRMH-Sシリーズ CRHシリーズ
周囲温度	0℃～50℃	0℃～40℃
吸気温度	50℃以下	80℃以下
相対湿度	10%～90%	
高度	1000m以下	
過電圧カテゴリ	Ⅲ	
材料グループ	Ⅲ	
汚染度	3	

- 屋内に設置してください。
- 製品質量を考慮して十分な設置面強度を確保してください。
- 強い振動や衝撃を受けないところに設置してください。
- 傾きのない水平な場所に設置してください。
- 爆発性雰囲気となる可能性のある場所への設置はできません。(CRH-□□Eは除く)

8. 吸引物質について



警告

爆発性ガス・有機溶剤・火花、火のついたタバコなどは絶対に吸引させないでください。爆発・火災・製品の損傷の原因となります。

なお、安全増防爆形のモータ付のCRH-□□Eシリーズをご使用いただくと、第4類危険物のうち第2石油類（灯油など）、第3石油類以上のミストも吸引が可能です。但し、ミスト温度は引火点以下としてください。

CRHシリーズは軸封にオイルシールを使用していますので潤滑のため必ずミストを吸引してください。（P20 “**ご使用上の注意について**”（6）をご参照ください）

※CRM-S、CRM-V、CRMH-Sシリーズでも引火点が150℃以上の第3石油類につきましてはミストを吸引することは可能です。但し、吸込温度50℃以下（CRMHは80℃以下）となります。焼損防止端子A・B（白色のリード線）を必ず操作回路に使用し、モータが異常加熱しない様、対策を取ってください。

※吸引物質の種類によってはパッキン・フィルタなどを劣化させる場合があります。

9. 設置について

(1) 設置方法



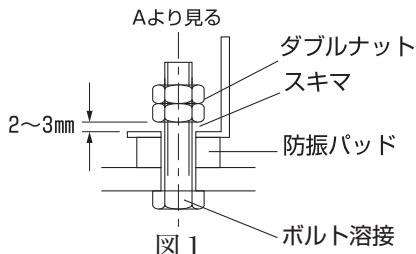
注意

共通

- ・開梱時は天地を確認の上、開梱してください。
- ・製品を吊り上げる際は製品質量を確認し、定格荷重に合った吊り具をご使用ください。
- ・アイボルトにゆるみがないことを確認してください。
- ・吊り上げ用フックをアイボルトにかけて吊り上げてください。
- ・急激な吊り上げ、吊り下げ、発進、停止をして、製品に衝撃を与えないでください。
- ・運搬時に端子箱部を持たないでください。
- ・製品設置後にアイボルトを使用して、設置機械と共に吊り上げないでください。
- ・CRM-S（横型）製品を吊り上げる時は、製品上部に取り付けているアイボルトを利用し、吊り上げてください。
- ・CRM-V（縦型）を吊り上げて設置する場合は製品に付属しているアイボルトを製品上部のボルトと入れ替え、吊り上げてください。
- ・アイボルトは上部の対角ボルトと入れ替えてください。

① CRM-Sシリーズ、CRMH-Sシリーズ、CRHシリーズ

- a ドレンパイプからの排出・防振ゴムの質量配分のため、水平に設置してください。
- b 機械および装置の上に設置する場合は、振動による移動を防止するため、ボルトで固定してください。
- c 固定ボルトは、防振パッドの動きを活かすためのスキマをあけて固定してください。（図1をご参照ください）



- d ドレンパイプからの排出のため、液封面とドレンパイプまでの高さを300mm以上離して設置してください。高さ600mmの床上台をオプション部品として用意しています。（図2をご参照ください。ドレン配管についてはP19(3).ドレンチューブの配管をご参照ください。）
- e フィルタの交換など、保守、点検用のため、周囲には各方向500mm程度のスペースを確保してください。

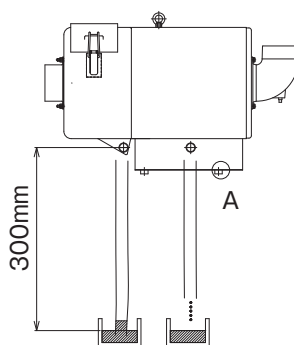
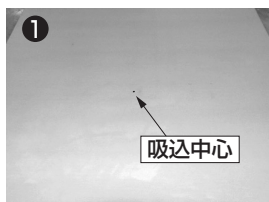


図 2

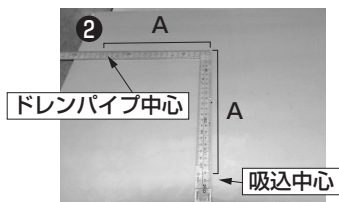
② CRM-Vシリーズ

本機を移動させる際は、端子箱を持たずに端子箱以外の部分を持つ、もしくは付属品のアイボルトを右記写真のように取り付け（サイドカバー取り付けビスを外して取り付け）して移動させてください。



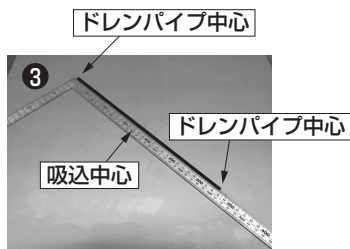


ミストレーサを設置する面のミストレーサ中心（吸込口中心）位置に印を付けます。



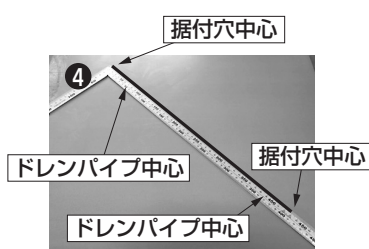
2ページ据付寸法に合わせて片側のドレンパイプ中心位置に印を付けます。

A寸法 H02、H04：118mm
 H07：138mm
 H15：168mm
 H22：187mm



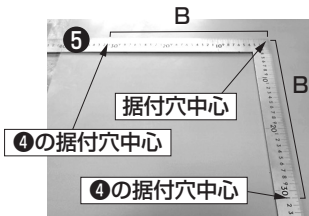
①と②印の延長線上にもう一方のドレンパイプ中心位置の印を付けます。

②の印からの距離
 H02、H04：335mm
 H07：390mm
 H15：475mm
 H22：530mm



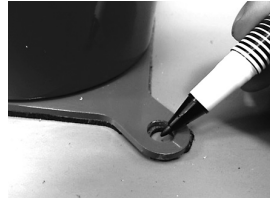
②、③印の延長線上に据付穴中心位置(2ヶ所)の印を付けます。

②、③印からの距離
 H02、H04：51.7mm
 H07：59.6mm
 H15：66.6mm
 H22：67.3mm



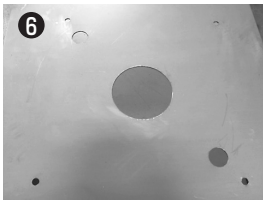
④印の据付穴中心位置から2ページ据付寸法に合わせて残り2ヶ所の据付穴中心位置(2ヶ所)の印を付けます。

B寸法 H02、H04：310mm
 H07：360mm
 H15：430mm
 H22：470mm



据付穴中心位置(④、⑤)の印については、①、②、③印の穴あけ加工終了後にミストレーサを仮設置して印を付ける方法でも可能です。

ただし加工を行う際は、仮設置したミストレーサを移動させてからφ10の穴あけ加工を行ってください。



付けた印に合わせてホールソー等で穴あけ加工を行います。

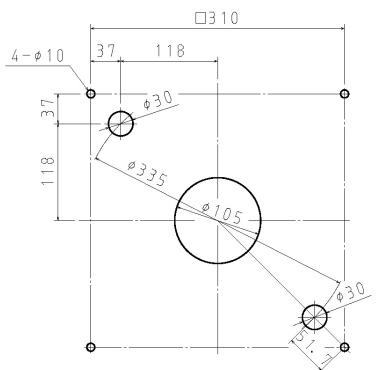
吸込口(中心)

H02、H04：φ105mm
 H07：φ130mm
 H15：φ160mm
 H22：φ210mm
 ドレンパイプ：φ30mm
 (全機種共通)
 据付穴：φ10mm
 (全機種共通)

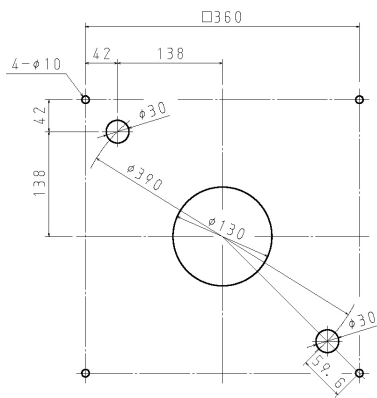


ミストレーサを設置しボルトナットで固定します。

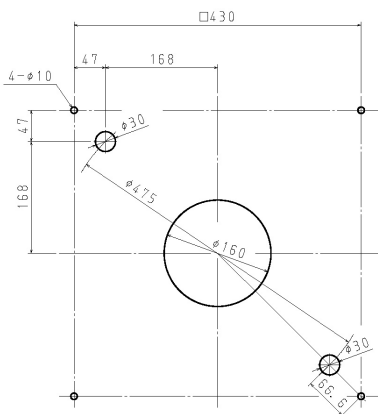
ミストレーサCRM-V 据付寸法



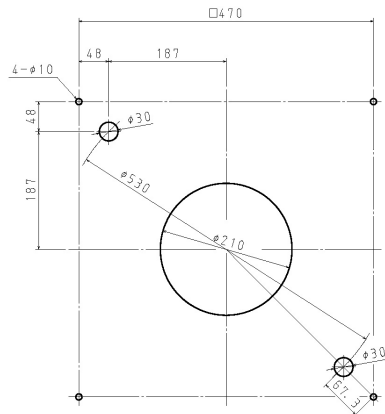
CRM-H02-V□□、CRM-H04-V□□



CRM-H07-V□□



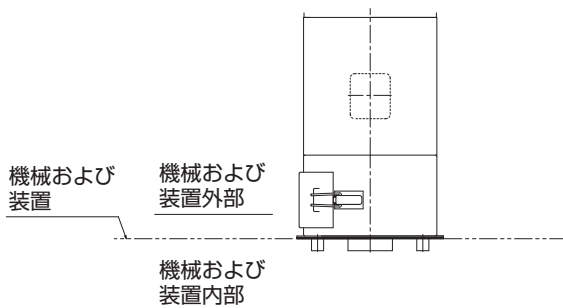
CRM-H15-V□□



CRM-H22-V□□

⚠ 注意

- a 本機から正しく油を排出するために、水平に設置してください。
- b 機械および装置にボルトナットで固定してください。
(CRM-Vシリーズはダクトホース、ドレンチューブの配管が必要ありません。)
- c フィルタの交換など、保守、点検用のため、周囲には各方向500mm程度スペースを確保してください。



(2) 電源接続

⚠ 警告

- ① 電源は定格電圧・定格周波数でご使用ください。
 - インバータを使用した運転は、モータ焼損防止端子A・Bをインバータ制御回路に組込む等、電動機を保護すれば可能です。
また、異電圧(380V以上)でインバータ運転される場合は、モータ絶縁強化が必要になります。
 - 電圧変動の許容範囲
 - 連続……定格電圧の±5%以内
 - 一時的……定格電圧の±10%以内
- ② 必ず【アース線】を接続してください。
- ③ CRHシリーズ：羽根車の回転方向は、電動機側より見て右回転となります。回転方向を確認した上で運転してください。

CRM-Sシリーズ・CRM-Vシリーズ・CRMH-Sシリーズ

：右回転、左回転いずれでも支障ありません。

- ④ CRM-Sシリーズ・CRM-Vシリーズ・CRMH-Sシリーズの端子台の端子A・B(白のリード線付)はモータの焼損防止用の端子です。使用方法は(3)を参照ください。
- ⑤ 圧着端子を使用する場合には、圧着端子のカシメ部分に絶縁チューブをかぶせるか、絶縁タイプの圧着端子をご使用ください。

ねじサイズ	締付トルク
M3.5	0.87N・m(max0.96N・m)

外部保護銅導体の最小断面積

形 式	機器に給電する銅相導体の断面積	外部保護銅導体の最小断面積
CRM-H02, CRH-100T/E, CRH-200T/E	AWG16(≒1.25mm ²)	AWG16(≒1.25mm ²)
CRM(H)-H04, CRH-04E	AWG16(≒1.25mm ²)	AWG16(≒1.25mm ²)
CRM(H)-H07, CRH-07E	AWG16(≒1.25mm ²)	AWG16(≒1.25mm ²)
CRM(H)-H15, CRH-15E	AWG14(≒2.0mm ²)	AWG14(≒2.0mm ²)
CRM(H)-H22	AWG14(≒2.0mm ²)	AWG14(≒2.0mm ²)

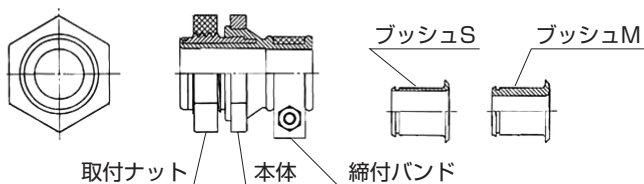
- ⑥ 電源配線を行う際には端子部に外力が作用しない様にケーブル引込口にコードロック等を用いてケーブルを固定してください。
特別対応品でコードロック付の場合は下記の手順で電源配線してください。

手順

1. 付属のブッシュからコードに適合するサイズを選択する。

ブッシュ記号	適合コード径 (mm)
S	6.0 ~ 8.0
M	8.0 ~ 10.0
なし	10.0 ~ 12.0

2. コードロックにコードを通す。
3. 締付バンドを締めてコードを固定し、コードが固定されていることを確認する。



(3) 焼損防止用端子の使用法

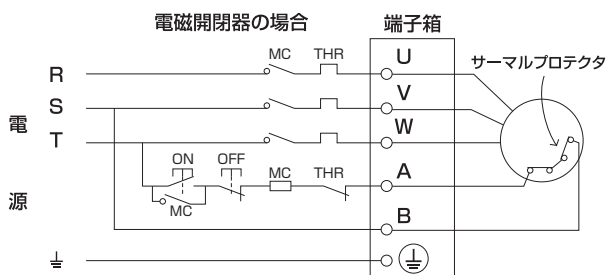
CRM-Sシリーズ・CRM-Vシリーズ・CRMH-Sシリーズには、モータの巻線に、熱反応式のサーマルプロテクタを取り付けています。(巻線温度が異常に上昇すると接点が開き、一定の温度まで下がると接点が閉じる自動復帰式です) このサーマルプロテクタにつながる端子が焼損防止用端子A、Bです。

この端子を電磁開閉器 (サーマルリレー付) の操作回路に直列に接続することにより、モータ焼損を防止します。

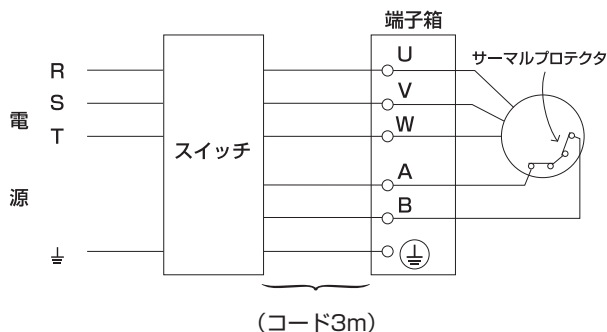
⚠注意

- ① A、B端子は必ず操作回路に使用し、モータを保護してください。
- ② 接点定格 (AC115V 18A/AC230V 13A/DC24V 18A) 以下でご使用ください。
- ③ サーマルリレーがトリップした場合は、その原因を取除き、リセットボタンを押してください。
- ④ ミストレーサを間欠運転する場合はサーマルリレーがミストリップする可能性があります。この場合、サーマルリレーの変更が必要です。

- a 焼損防止用端子A、Bを用いての配線例
電磁開閉器 (サーマルリレー付) をご用意ください。



b 別売のスイッチ (3SW、サーマル内蔵、コード3m付) を用いての配線例



- ⑤ サーマル電流は製品の銘板に記載されている定格電流を確認し、定格電流に設定してください。

10. 配管について

CRM-Vシリーズはダクトホースレス、ドレンチューブレスタイプとなりますのでダクトホース、ドレンチューブの配管は必要ありません。機械および装置に直接固定して使用してください。

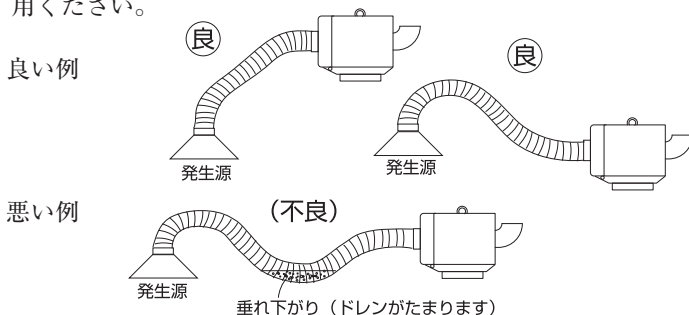
(1) ダクトホースの材質について

ダクトホースの寿命は吸引するミストの種類により影響を受ける場合がありますので、耐油性ダクトホースをお勧めします。

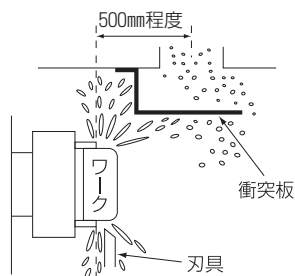
(2) 吸込ダクトの配管 (CRM-Vシリーズは原則不要)

- ① ダクトはメンテナンスが容易で、防振効果のあるフレキシブルダクト (オプション部品) をご使用ください。
- ② ダクトの長さは余裕ある長さとし、かつ垂れ下がりがないように配管してください。

- ③ 相手側の接続を容易にするため、ダクト相フランジ（付属品）をご使用ください。



- ④ ミスト発生源の近くに吸込口があるとミスト、切粉、粉じんを多量に吸い込み、吹き漏れ、フィルタ、デミスタの詰まりの原因となる場合があります。発生源と吸込口との距離をあけるか(500mm程度)、衝突板を設けて吹き漏れ、切粉、粉じんの詰まりのないようにしてください。



(3) ドレンチューブの配管（CRM-Vシリーズは原則不要）

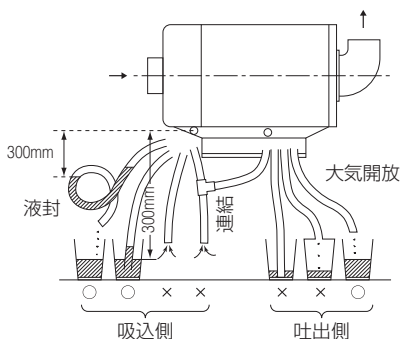
- ① 吸込側は、必ず【液封】をしてご使用ください。（液封をしないとドレンチューブの先端より空気を吸い込みドレンが逆流して排出しなくなり、次のフィルタへ移動するため目詰まりが早くなります）

- ② 吸込側と吐出側のドレンチューブは連結しないでください。

- ③ 吐出側は、必ず【大気開放】にしてください。

（大気開放になっていないとドレンの排出が悪くなり本体内にたまる可能性があります。）

- ④ ドレンチューブの配管をしていないドレンパイプはプラグなどで閉栓してください。



11. ご使用上の注意について

- (1) 火災防止のため、爆発性ガス・有機溶剤・火花、火のついたタバコなどを吸引しないでください。
- (2) 切粉や粉じんが多い場合、およびミストの濃度が高い場合はオプション部品の **【チップセパレータ】** をご使用ください。
- (3) ミストが **【油性】** (非水溶性) で、吸い込む量が多い場合や、粒子径が小さい場合など、使用条件により捕集効率が変わり、吹き漏れや再飛散を生じることがありますので、オプション部品の **【汎用アフターフィルタや高性能アフターフィルタ】** をご使用ください。(CRM-S、CRM-V、CRMH-Sシリーズのエンドフィルタタイプ以外をご使用の場合は先にオプション部品のエンドフィルタをご使用ください。) なおアフターフィルタの取付けには別途オプション品が必要です。
- (4) 油煙など粒子が細かい場合、およびミストの粒子が小さく濃度が高い場合は、オプション部品の **【高性能アフターフィルタ】** をご使用ください。またアフターフィルタの交換寿命を伸ばすために、オプション部品のインナーフィルタをご使用ください。
- (5) CRM-Sシリーズ、CRM-Vシリーズ、CRMH-Sシリーズでは、フィルタ(デミスタ)の目詰まりなどで閉そく状態(空気が流れない状態)にならないように注意してください。空気の流れにより、内蔵モータを冷却(空冷式)していますので閉そく状態になるとモータの冷却が悪くなりモータ焼損の原因となります。なお、CRH(高温形)シリーズはモータが機外にあるため問題ありません。
- (6) CRH(高温形)シリーズでは、必ずミストを吸引してください。軸シールにオイルシールを使用していますので、ミスト(液体)がないとオイルシールと軸の接触部の潤滑と冷却が悪くなり発熱して寿命が短くなり、早期の漏れの原因となります。なお、CRM-Sシリーズ、CRM-Vシリーズ、CRMH-Sシリーズはドライ状態でも使用できるVリングを使用していますので問題ありません。
- (7) CRH(高温形)シリーズ、CRMH-Sシリーズで防錆剤などが入っていない水のみスト等を吸引する場合は、錆発生防止(内部)のため数分間空運転をして内部を乾燥させてください。

12. 保守点検について

(1) 定期点検

3ヵ月を目安に、振動・異常音発生の有無、1年毎に絶縁を点検してください。

(2) フィルタ・デミスタの点検・交換の目安

① CRM-Sシリーズ、CRM-Vシリーズ、CRMH-Sシリーズ

フィルタの種類	型 式	材 質	数	点検・交換の目安	洗浄の可否
フロントデミスタ	S1□、V1□	アルミニウム	1	12～24カ月	可
フロントフィルタ	S2□、V2□	ポリエステル	4	1～6カ月	可
エンドデミスタ (サイドデミスタ)	S□2、V□2	アルミニウム	1 (4)	24～36カ月	可
エンドフィルタ	S□3、V□3	ポリエステル	1	6～12カ月	否

※製品型式により内部構成部品が異なります。

(S□2はエンドデミスタ1個、V□2はエンドデミスタ1個+サイドデミスタ4個)

② CRH(高温形)シリーズ

フィルタの種類	材 質	数	点検・交換の目安	洗浄の可否
一次フィルタ	ポリエステル	※	1～6カ月	可
二次フィルタ	ポリエステル	※	1～6カ月	可
三次フィルタ	ポリエステル	※	6～12カ月	可
エンドフィルタ	ポリウレタン※	1	6～12カ月	可

※CRH-100T/E：一次フィルタ1枚、二次フィルタ4枚、三次フィルタ1枚

CRH-200T/E：一次フィルタ1枚、二次フィルタ5枚、三次フィルタ1枚

CRH-04E、07E、15E：一次フィルタ2枚、二次フィルタ2枚、三次フィルタ：無

CRH-100T/E：エンドフィルタの材質はステンレス

⚠ 注意

フィルタ・デミスタの点検を行う際は【ゴム手袋など】をつけてケガを防止してください。

本機をメンテナンスする場合は本取扱説明書を読み構造を熟知し、メンテナンスの訓練を受けた方が行ってください。

(3) フィルタ・デミスタの点検・交換・組み換え要領

作業に入る前に必ず【電源スイッチを切る】又は【切れている】ことを確認してください。また電源スイッチに【作業中・スイッチ入れるな】等のカードを取り付けて作業を行なってください。

①CRM-Sシリーズ、CRM-Vシリーズ、CRMH-Sシリーズ

a フロントデミスタ、フロントフィルタの点検、交換、組み換え
(□1□→□2□ □2□→□1□)

S、V型



クランプを外して、フタを取り外します。

S、V型

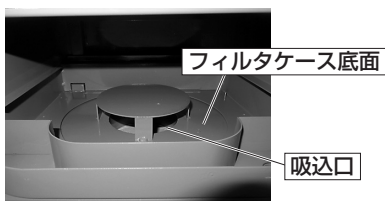


フロントデミスタ（フロントフィルタ）を取り出します。

S型



V型

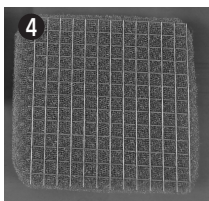


切粉を吸い込んでいる場合

S型：フィルタボックスを取り外し、ボックス内の切粉を取り除いてください。

V型：フィルタケース底面に溜まっている切粉を手で取り除くもしくは吸込口に落としてください。

フロントデミスタ



フロントフィルタ



点検、取り外し後

フロントデミスタ(1枚)：向きを合わせて(短い辺を縦に、裏表は無)挿入します。

フロントフィルタ(4枚)：向きを合わせて(短い辺を縦に)、「ミストレーサ純正品」とスタンプがある方を下流側(風下側)にして、4枚まとめて挿入します。

【注意 S、V型】

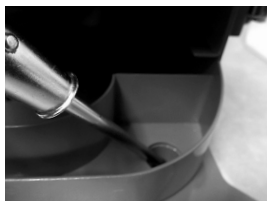


フタを取り付ける際、フタのガイドをガイド穴に差し込んで取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、油が漏れる原因となる可能性があります。



フィルタケースにフタを固定するときは、写真のようにクランプのアーム部をフタと一緒に片手で押さえながら、レバーを倒して固定してください。(※アーム部が深くかかっていることをご確認ください。)

【注意 V型】



点検、交換、組み換えの際に、ドレンパイプ内に切粉が溜まっているか確認してください。切粉が溜まっている場合は切粉を手で取り除く、もしくはφ8以下の棒でドレンの詰まりを取り除いてください。油の排出不良の原因となります。

b エンドデミスタ、エンドフィルタの点検、交換、組み換え
(□□2→□□3 □□3→□□2)

S、V型



サイドカバー取り付けビスを外し、サイドカバーを取り外すとエンドデミスタ（エンドフィルタ）が現れます。

S、V型



エンドデミスタ（エンドフィルタ）を引き抜きます。

【注意 V型エンドデミスタタイプ】



V型エンドデミスタタイプを組み換えの場合
V型にはサイドデミスタが必要になります。
エンドデミスタからエンドフィルタへ入れ替える場合はサイドデミスタの取り外し(d④、⑤参照)、エンドフィルタからエンドデミスタへ入れ替える場合はサイドデミスタの挿入(c④、⑤参照)を行ってください。

S、V型

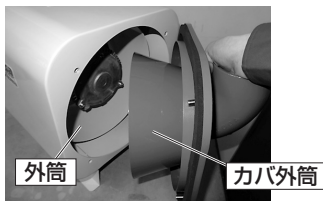


点検、取り外し後

エンドデミスタ（エンドフィルタ）をフィルタ枠に挿入し、サイドカバー取り付けビスでサイドカバーを固定します。（S型のエンドフィルタ挿入時は、継ぎ目を下側にしてセットします。）

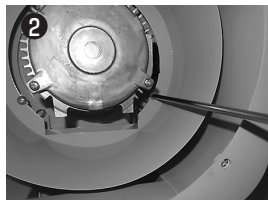
c テーパ筒からエンドデミスタ、エンドフィルタへの組み換え
(□□1→□□2 □□1→□□3)

S、V型



サイドカバ取り付けビスを外し、サイドカバを取り外すと
本体側に外筒、サイドカバ側にカバ外筒が現れます。

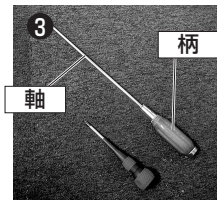
S、V型



本体に取り付いている外筒を取り外します。

ビス数 H02、H04:3ヶ所
H07、H15、H22:4ヶ所

【注意 S、V型】



外筒取り外し、フィルタ枠取り付けの際は、ロングドライバ
(軸長さ200mm以上)をご使用
ください。通常のドライバで
は柄が引っ掛かりビスまで届か
ない機種があります。

V型エンドデミスタタイプ



V型エンドデミスタの場合
サイドデミスタを4隅に挿入
します。

S、V型



本体にフィルタ枠を取り付けま
す。
ビス数 2ヶ所

S型



V型

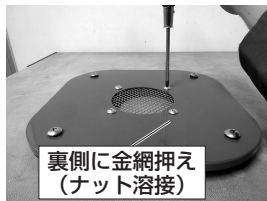


サイドカバに取り付けられているカバ外筒を取り外します。

S型



V型



S型：エルボとサイドカバをトラスビス（シールワッシャ付）とナットで固定します。

V型：サイドカバと金網押えの間に金網をセットしトラスビス（シールワッシャ付）で固定します。

S、V型



エンドデミスタ（エンドフィルタ）をフィルタ枠に挿入し、サイドカバをトラスビスで固定します。（S型のエンドフィルタ挿入時は、継ぎ目を下側にしてセットします。）

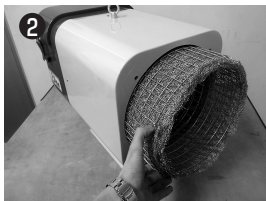
d エンドデミスタ、エンドフィルタからテーパ筒への組み換え
(□□2→□□1 □□3→□□1)

S、V型



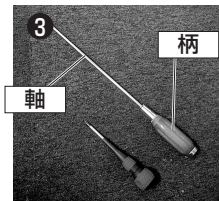
サイドカバー取り付けビスを外し、サイドカバーを取り外すと本体側にエンドデミスタ（エンドフィルタ）が現れます。

S、V型



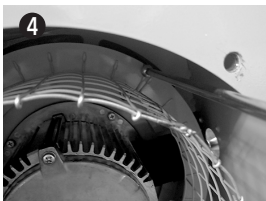
エンドデミスタ(エンドフィルタ)を引き抜きます。

【注意 S、V型】



外筒取り外し、フィルタ枠取り付けの際は、ロングドライバ（軸長さ200mm以上）をご使用ください。通常のドライバでは柄が引っ掛かりビスまで届かない機種があります。

S、V型



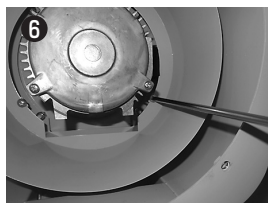
本体のフィルタ枠を取り外します。
ビス数 2ヶ所

V型エンドデミスタタイプ



V型エンドデミスタタイプの場合
サイドデミスタを4隔から取り外します。

S、V型



本体に外筒を取り付けます。
ビス数 H02、H04:3ヶ所
H07、H15、H22:4ヶ所

S型



S型：エルボとサイドカバを取り外します。
V型：サイドカバと金網押え取り外します。

V型



S型



S型：エルボ、サイドカバ、カバ外筒をトラスビス（シール
ワッシャ付）で固定します。

V型



V型：サイドカバとカバ外筒の間に金網をセットしトラスビス
（シールワッシャ付）で固定します。

S、V型



サイドカバをトラスビスで固定
します。

②CRHシリーズ

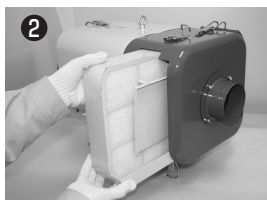
(CRH-100、200T/Eは交換方法が異なります。お問い合わせください。)

一次、二次フィルタの交換

(洗浄後、再利用ができます)



① クランプをはずして、フタを取り外します。



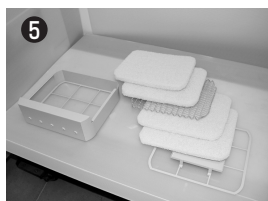
② フィルタボックスをスライドさせて、取り出します。



③ フィルタ押えを取り外します。
※フィルタ交換後、フィルタ押えの取り付けの向きに注意してください。

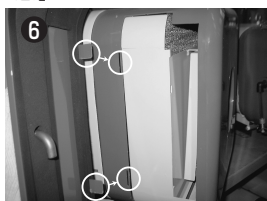


④ 一次フィルタ(薄いもの)、スペースアミ、二次フィルタ(厚いもの)の順に取り外します。



⑤ 交換の場合は、二次フィルタ、スペースアミ、一次フィルタの順にセットします。一次フィルタ(2枚)、二次フィルタ(2枚)は、「ミストレーサ純正品」とスタンプがある方を下流側(風下側)にして、1枚ずつ取り付けてください。(一度に入れるとかたよる可能性があります。)

【注意】



⑥ フィルタ交換が完了し、フタを取り付ける際、必ずガイドをガイド穴に差し込んで取り付けてください。正しく取り付けしていない場合、油が漏れる原因となる可能性があります。

エンドフィルタの交換 (洗浄後、再利用ができます)



7 アイナットを外してください。



8 エンドフィルタを取り出し、交換します。

⚠ 注意

フィルタは弊社純正部品をご使用ください。フィルタを取り外しての運転は行わないでください。(故障或不具合の原因になります。)

(4) その他のメンテナンスについて

CRH-□□Eシリーズは安全増防爆形のモータを使用していますので、フィルタ交換以外のメンテナンスにつきましては、お問い合わせください。(P32をご参照ください)

(5) フィルタ・デミスタの洗浄方法

① 洗浄方法

洗浄可能なフィルタ、デミスタはエアブローまたは浸け置き洗浄(中性洗剤)で汚れ等を落としてください。



② 廃棄方法

洗浄後の廃水や廃棄になるフィルタは各市町村の条例等に従って廃水・廃棄を行ってください。

13. 保証について

(1) 保証の範囲

取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書きに従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。

ただし、本製品がお客様の装置に組み込まれている場合において、その装置等からの取り外しおよび装置等への取り付け、その他これらに付帯する工事費用、輸送等に要する費用ならびにお客様に生じた機会損失、操業損失その他の間接的な損害については保証範囲外となります。

(2) 保証期間

製品納入の日から1年間といたします。

(3) 保証期間内であっても次の場合には原則として有料修理とさせていただきます。

- ①取扱説明書・注意書に記載以外の誤った使用による故障及び損傷
- ②弊社以外での不当な修理や改造（製品への穴あけなどを含む）による故障及び損傷
- ③お買上後の輸送、落下等による故障及び損傷
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）等による故障及び損傷
- ⑤弊社指定品以外の部品をご使用の場合の故障及び損傷
- ⑥異物混入による故障及び損傷
- ⑦経年変化または使用に伴う変色、傷、消耗部品の自然消耗等の不具合

(4) 本製品のご使用中に発生した不具合に起因する損害は補償いたしません。

14. お問い合わせについて

本製品に関するお問い合わせは、最寄りの営業拠点迄ご連絡ください。
不具合又は修理などのご依頼の際には、銘板に記載してある品名(TYPE)と製造番号(No.)をご連絡ください。

MISTRESA	
TYPE	
Hz	OUTPUT kW 2 POLES
VOLTS	3 φ /INSU E /CONT
AMP	
MAXm3/min	
MAXkPa	< > No.
SDG CO., LTD. MADE IN JAPAN ④	

品名 (TYPE)

製造年

製造番号(No.)

※CRM-S、CRM-V、CRMH-Sシリーズをご使用のお客様で、納入後にお客様で内部構成の組み換えを行っている場合は、組み換え時に貼り付けしている銘板をもとに組み換え内容を合わせてご連絡ください。(下記銘板参照)



※営業拠点の最新情報は、弊社ホームページよりご確認ください。
営業拠点紹介



15. 廃棄について

製品を廃棄する場合は法令及び規制に従ってください。

16. 仕様一覧

CRM-Sシリーズ

形 式	CRM-H02-S□□	CRM-H04-S□□	CRM-H07-S□□	CRM-H15-S□□	CRM-H22-S□□
電 源	三相 50Hz 200V 60Hz 200V / 220V				
出 力 kW	0.2	0.4	0.75	1.5	2.2
周波数 Hz	50/60	50/60	50/60	50/60	50/60
電 流 A	1.6/1.3/1.3	2.0/2.0/2.0	3.0/3.3/3.3	6.9/7.0/7.0	10.2/10.4/10.4
騒 音 機側 1 m dB(A)	64/67	68/72	73/78	81/83	83/86
質 量 kg	26	32	42	67	77

CRM-Vシリーズ

形 式	CRM-H02-V□□	CRM-H04-V□□	CRM-H07-V□□	CRM-H15-V□□	CRM-H22-V□□
電 源	三相 50Hz 200V 60Hz 200V / 220V				
出 力 kW	0.2	0.4	0.75	1.5	2.2
周波数 Hz	50/60	50/60	50/60	50/60	50/60
電 流 A	1.6/1.3/1.3	2.0/2.0/2.0	3.0/3.3/3.3	6.9/7.0/7.0	10.2/10.4/10.4
騒 音 機側 1 m dB(A)	63/66	71/75	77/81	78/83	81/85
質 量 kg	27	34	43	69	78

CRMH-Sシリーズ

形 式	CRMH-H04-S□□	CRMH-H07-S□□	CRMH-H15-S□□	CRMH-H22-S□□
電 源	三相 50Hz 200V 60Hz 200V / 220V			
出 力 kW	0.4	0.75	1.5	2.2
周波数 Hz	50/60	50/60	50/60	50/60
電 流 A	2.0/2.0/2.0	3.0/3.3/3.3	6.9/7.0/7.0	10.2/10.4/10.4
騒 音 機側 1 m dB(A)	68/72	73/78	81/83	83/86
質 量 kg	32	42	67	77

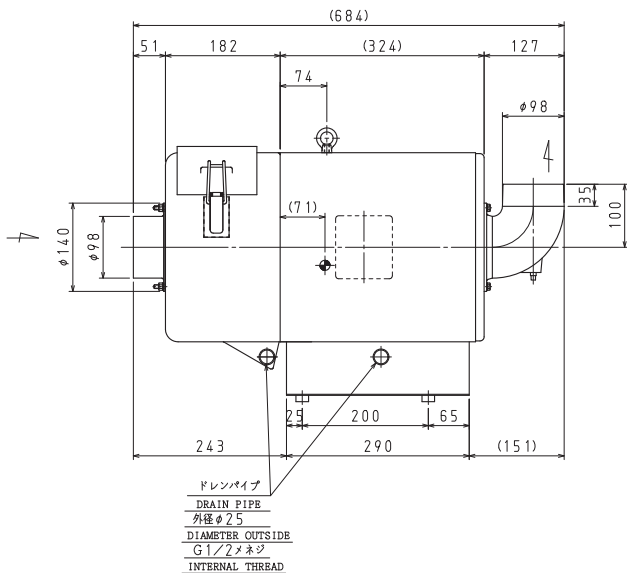
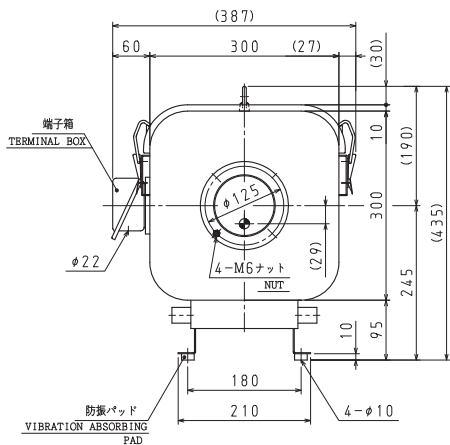
CRH(高温形)シリーズ (※CRH-100E, 200E, 04E, 07E, 15EはCE対応はできません。)

形 式	CRH-100T/E	CRH-200T/E	CRH-04E	CRH-07E	CRH-15E
電 源	三相 50Hz 200V / 60Hz 200V / 60Hz 220V				
出 力 kW	0.2	0.2	0.4	0.75	1.5
周波数 Hz	50/60	50/60	50/60	50/60	50/60
電 流 A	1.2/1.1/1.0	1.2/1.1/1.0	2.0/1.8/1.7	3.3/3.1/2.8	6.2/5.8/5.4
質 量 kg	13	20	26	37	57

T：非防爆形モータ仕様 E：安全増防爆形モータ仕様

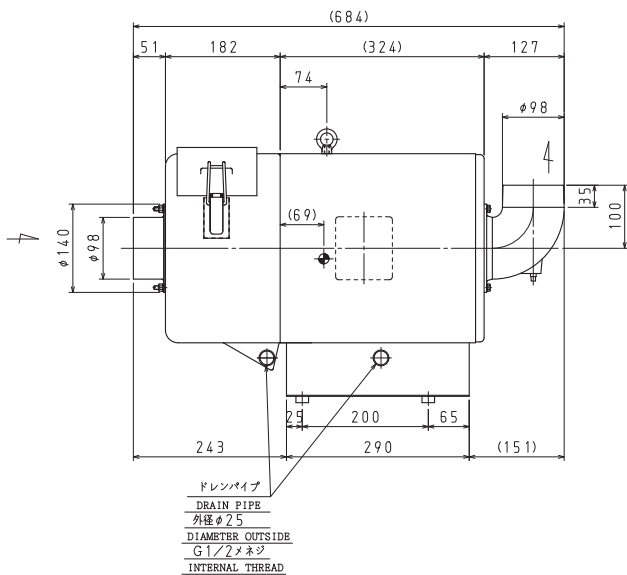
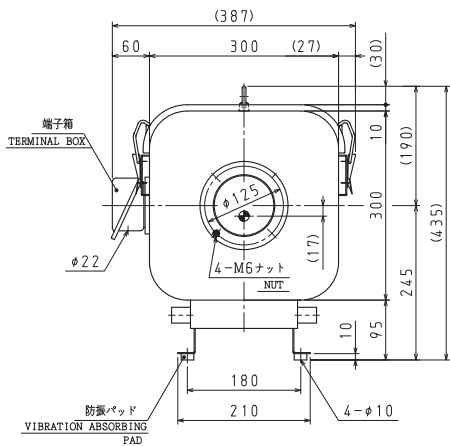
※上記電圧以外の仕様は納入仕様書をご確認ください。

① CRM-H02-S□□



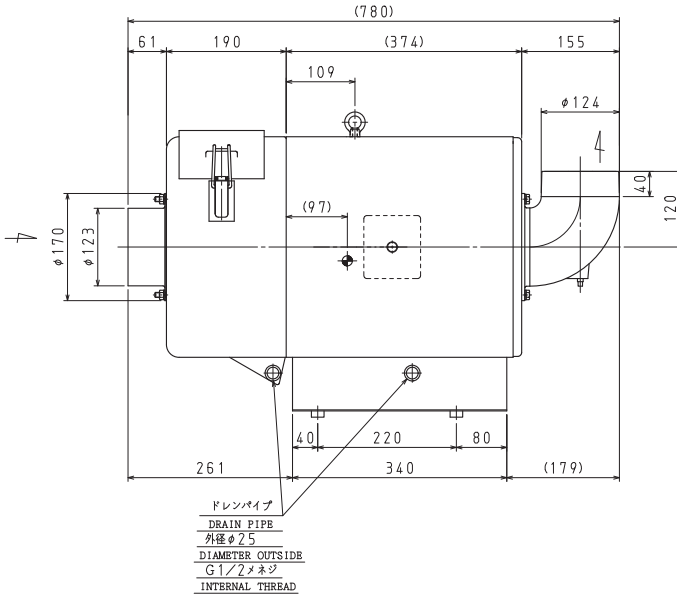
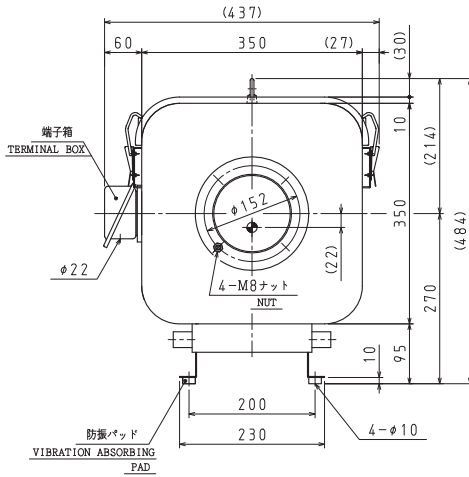
●：重心位置 (CENTROID POSITION)

② CRM-H04-S□□、CRMH-H04-S□□



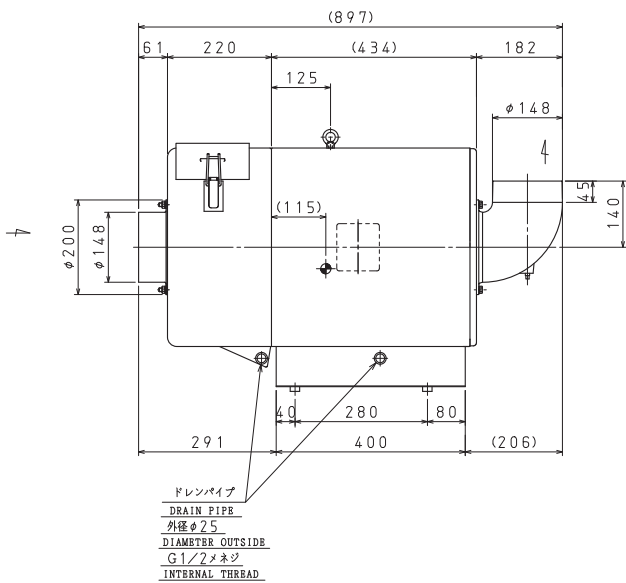
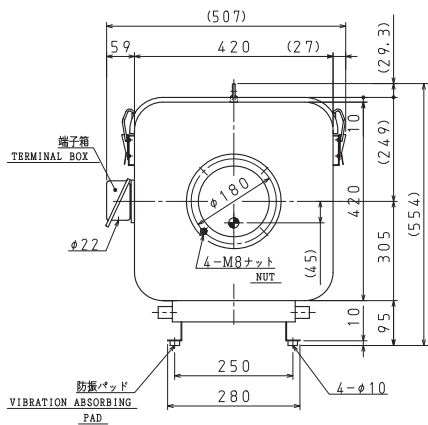
● : 重心位置 (CENTROID POSITION)

③ CRM-H07-S□□、CRMH-H07-S□□



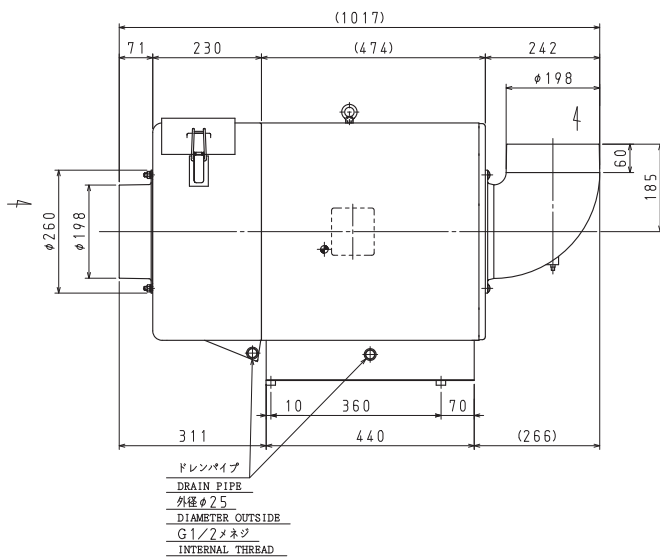
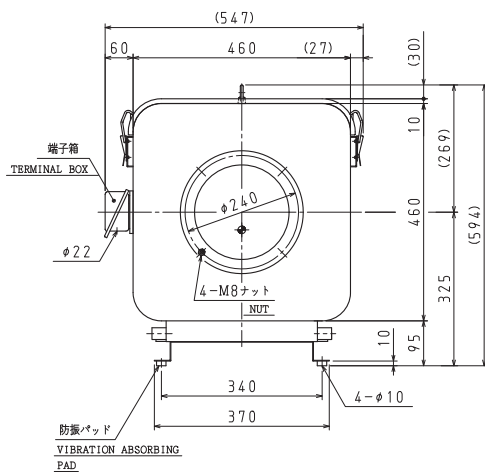
☉：重心位置 (CENTROID POSITION)

④ CRM-H15-S□□、CRMH-H15-S□□



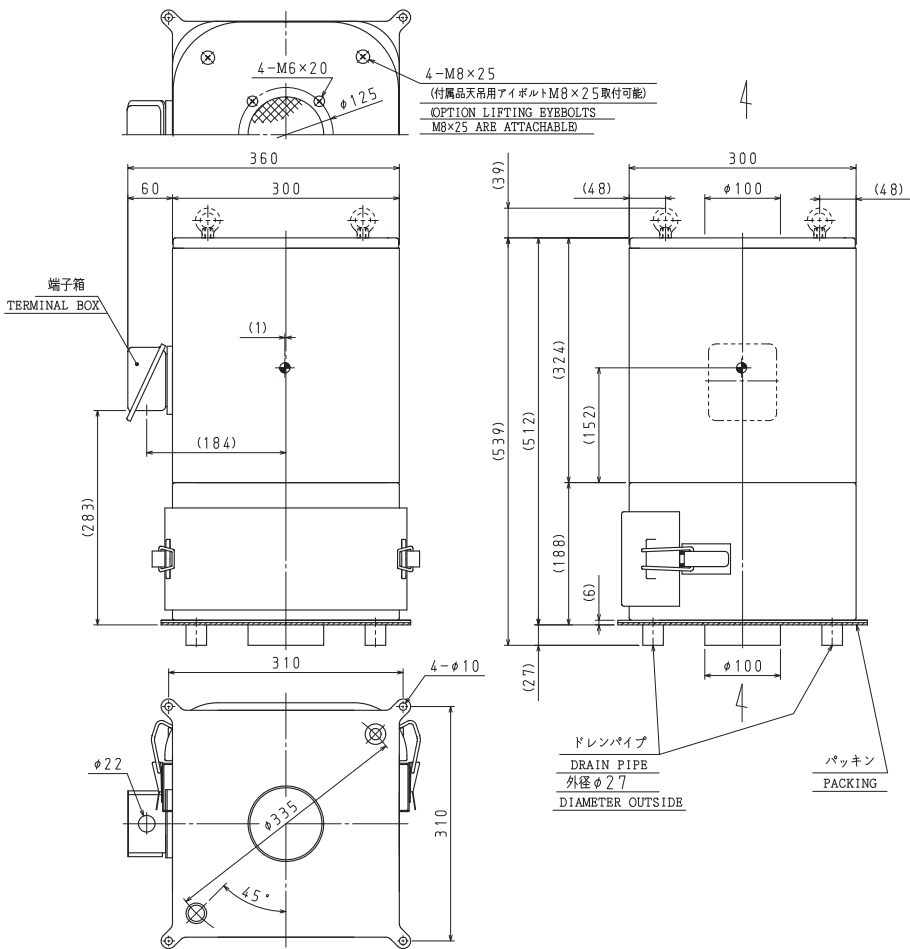
●：重心位置 (CENTROID POSITION)

⑤ CRM-H22-S□□、CRMH-H22-S□□



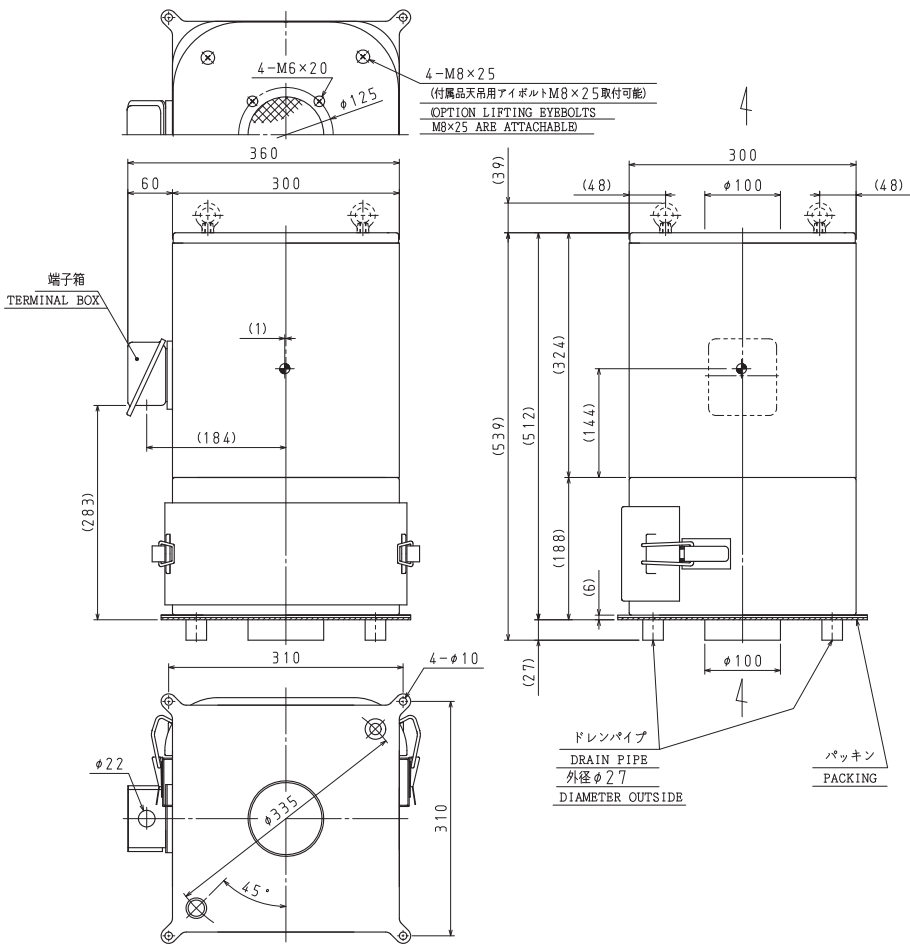
● : 重心位置 (CENTROID POSITION)

⑥ CRM-H02-V□□



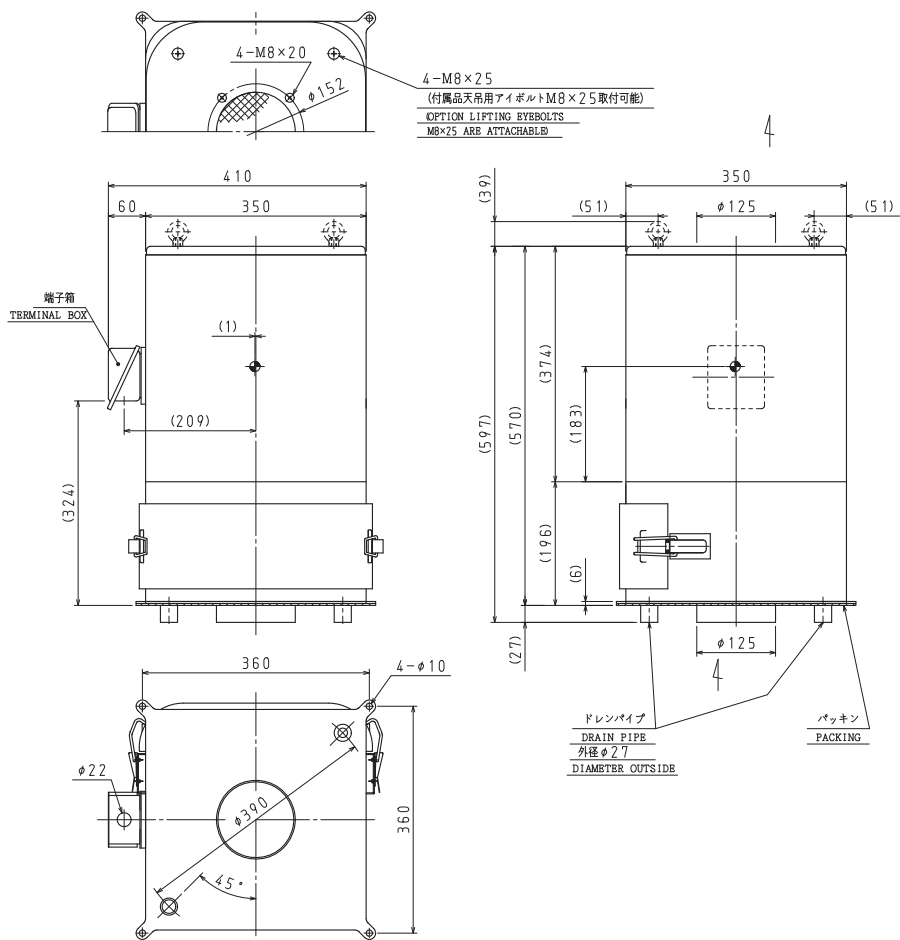
⊙ : 重心位置 (CENTROID POSITION)

⑦ CRM-H04-V□□



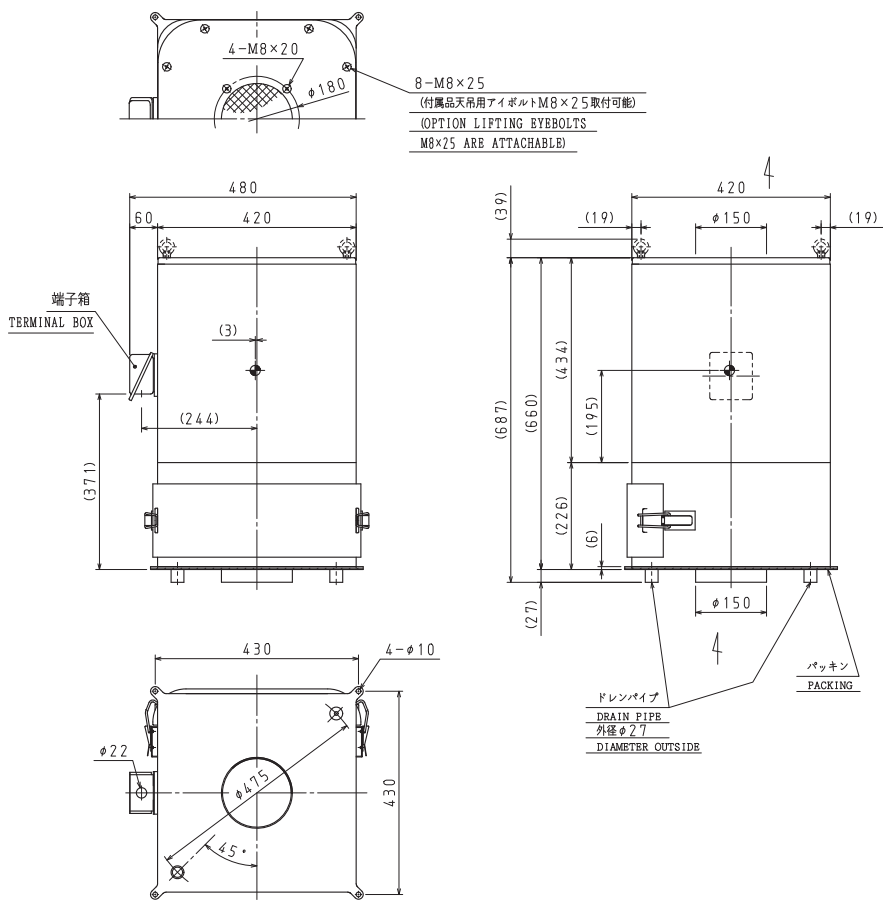
⊙ : 重心位置 (CENTROID POSITION)

⑧ CRM-H07-V□□



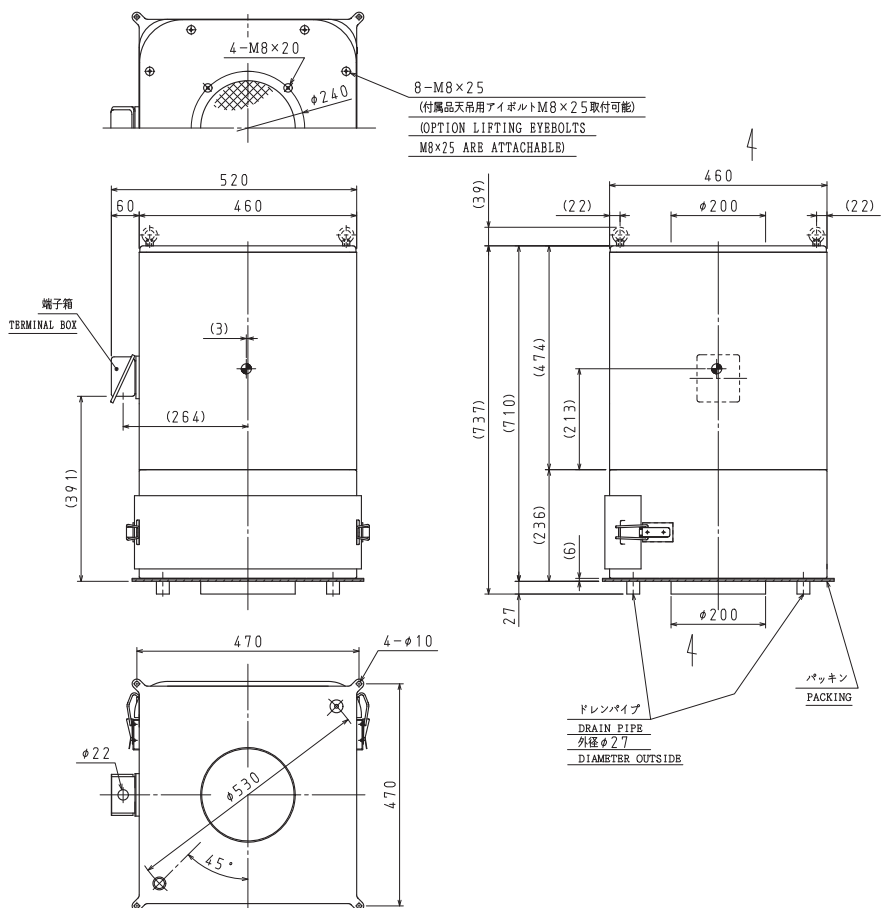
⊙ : 重心位置 (CENTROID POSITION)

⑨ CRM-H15-V□□



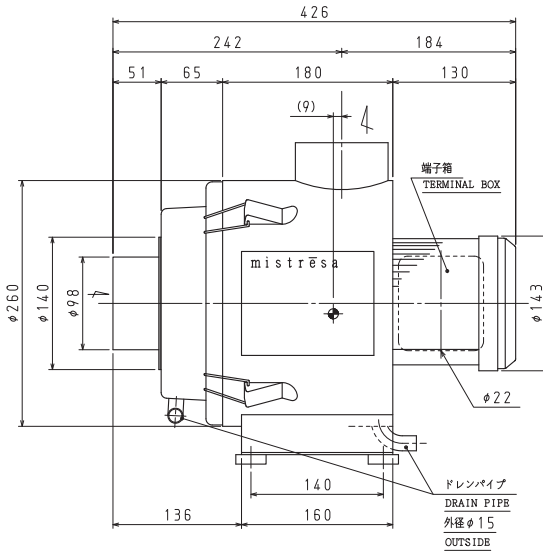
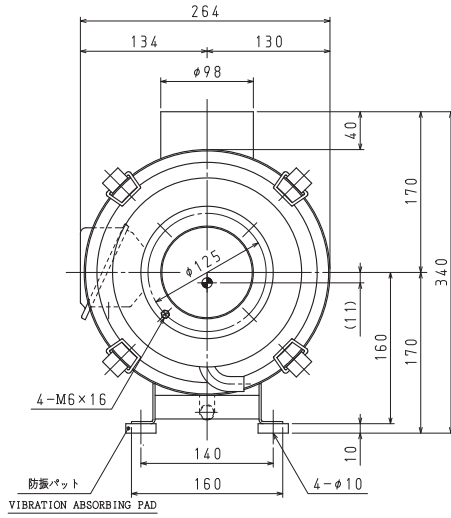
● : 重心位置 (CENTROID POSITION)

⑩ CRM-H22-V□□



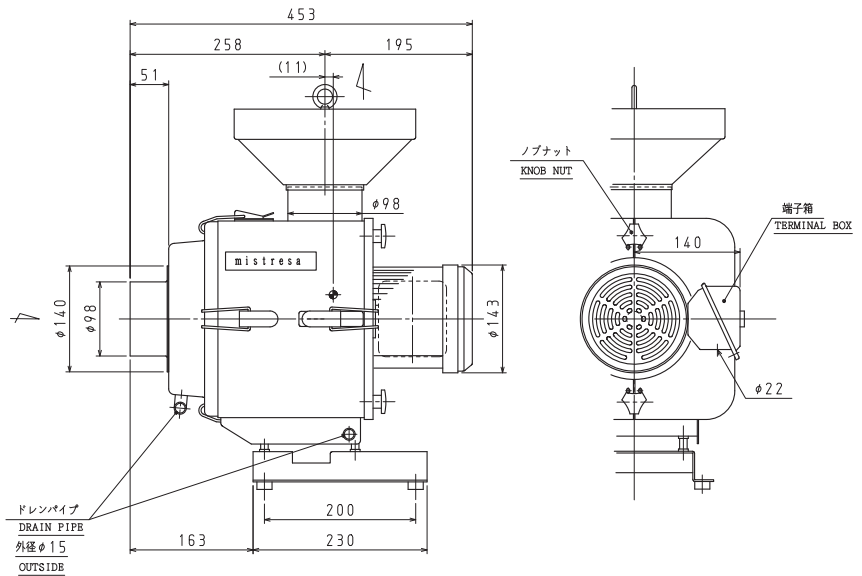
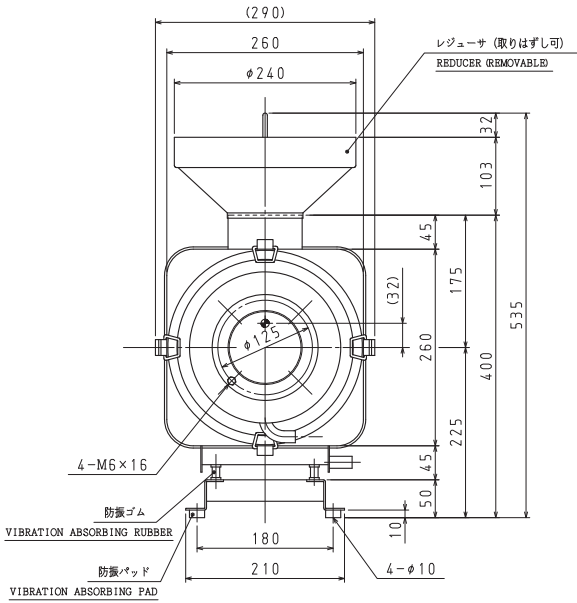
● : 重心位置 (CENTROID POSITION)

⑪ CRH-100T



● : 重心位置 (CENTROID POSITION)

⑫ CRH-200T



● : 重心位置 (CENTROID POSITION)

SDG株式会社

<https://www.sdg-eng.com>



環境に優しい植物油インキを使用しております。